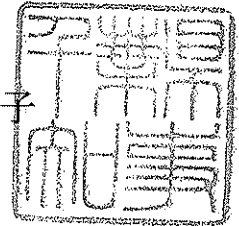




道計第14号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

千葉県知事 堂本 暁子



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

(回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました  
このことについて、別紙のとおり回答いたします。

担当 県土整備部道路計画課企画調整室  
電話 043-223-3272

中期的な計画の作成にあたっての意見について、下記により回答いたします。

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

○高速道路ネットワークの整備とその有効活用

首都圏における三環状道路をはじめとする高速道路ネットワークは、広域的な地域の結びつきを強化するとともに、渋滞の緩和、生活環境の改善を図り活力に満ち暮らしやすい県土づくりに不可欠である。

さらに、東京湾アクアラインを含む首都圏の高速道路ネットワークを有効活用し、都心部に集中する交通を適切に分散導入するために、一体的で利用しやすい料金体系を導入することも必要である。

これらを実現するために道路整備の財源を確保することが重要である。

○成田空港のアクセス強化

我が国の国際競争力の維持・強化のためには、日本の空の表玄関である成田空港が羽田空港と有機的に連携するとともに、平行滑走路の整備により活発になる人、物の交流を支えるためにも広域的な道路の整備が重要である。

○観光立県千葉の実現

千葉県観光への不満として挙げられている道路渋滞の解消にむけて、高速道路と国県道で形成される道路ネットワークの整備とともに渋滞情報の提供や、諸外国からの来訪者への配慮などきめ細かなサービス向上が重要である。

○安全で安心なまちづくりの実現

交通安全対策の推進により着実に交通事故死者が減少しているものの、交通事故多発県を返上するまでに至っていないことから、今後も交通事故多発地点の改善などの効果的な道路交通環境の整備が重要である。

また、急激な高齢社会の進展に対応するためにバリアフリー化の推進が重要である。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

### ○地域特性の反映

首都圏にありながら豊かな自然や様々な地域の歴史・文化を有する県土において、画一的な道路構造を見直すことにより、県民生活や地域の特性・ニーズを道路整備に反映することが重要である。

### ○整備効果の早期発現

道路整備への投資効果を実感できるようにしていくため、峻別による重点化を図り、真に必要な道路整備効果を早期に発現させることが重要である。

### ○既存ストックの有効活用

長寿命化を図るための道路管理や、交通情報の提供などソフト施策の充実による既存道路の有効活用が重要である。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

### ○「新たな公」による地域づくりの実現

道路管理において、住民、NPOをはじめとする多様な民間主体との連携・協働による県民が愛着をもてる道路づくりを実現していくことが重要である。

### ○快適な生活環境に寄与する道路整備

まちなみや景観への配慮や質の高い歩行空間の創出などによる親しみの持てる道路整備を進めることが重要である。

また、歩行者、自転車、自動車、公共交通など、様々な交通手段の結びつきを積極的に促すための道路整備も重要である。